



五感を働かせ、心豊かに学ぶ2学期へ

本日、26日間の夏休みを終え、2学期の始業式を行いました。校舎には、生徒たちの元気な声と明るい笑顔が戻ってきました。ご家庭や地域の皆様には、夏休み中も子どもたちの安全で充実した生活を温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

始業式では、1学期の終業式で生徒たちに伝えた「自分だけの一次情報をつかむ」という言葉を振り返りながら、この夏の経験、10月に迎える箕面（みのお）自由学園高等学校吹奏楽部との交流、そして2学期に学校で学ぶことの意味について話しました。ここでは、その内容を紹介します。

1 「どんな一次情報をつかんだか」

1学期の終業式では、生徒たちに「自分だけの一次情報をつかむ夏休みにしよう」と伝えました。ここでいう「一次情報」とは、インターネットやSNSなどを通して得る情報だけに頼るのではなく、自分自身の目で見て、耳で聴き、五感を使って直接体験し、確かめた情報のことです。この夏、生徒たちはそれぞれの場所で、自分なりの一次情報をつかんできたことと思います。3年生の多くは高校のオープンキャンパスに参加し、実際に校舎へ足を運び、先輩や先生方の話を直接聴くことで、自分の進路を考える手掛かりを得ました。1・2年生も、部活動や地域での体験活動、家庭での生活を通して、五感を使った貴重な経験をしたのではないのでしょうか。学校では、こうした経験を単なる思い出で終わらせず、感じたことや考えたことを自分の言葉で表現（言語化）しながら、学びを深めていきます。ご家庭でも、ぜひ「この夏、どんな一次情報をつかんだ？」とお子さんに尋ね、その声に耳を傾けていただければと思います。

2 「大阪から全国トップレベルの吹奏楽部がやってくる！」

およそ1か月半後の10月9日（金）、本校に箕面自由学園高等学校吹奏楽部の皆さん約120名をお迎えします。同部は、マーチングコンテスト全国大会で何度も金賞を受賞し、今年1月にはアメリカで公演を行うなど、全国トップレベルの実績をもつ吹奏楽部です。その演奏を本校の体育館で直接聴くことができるのは、生徒たちにとって「本物」に触れる貴重な機会であり、まさに「最高の一次情報」を得る体験となります。



2026箕面自由学園
ローズパレード
アメリカ・パサデナ

音量
注意△

3 「ラジオで語られた高校生たちの思い」

8月15日、エフエム岩手の「BRA-BAN!」に、遠征を控えた箕面自由学園高等学校の生徒の皆さんが出演していました。番組では、10月の大船渡遠征を心から楽しみにしていることに加え、東日本大震災に向き合っていくため、現地で堤防や街の様子を自分の目で見て、被災された方の話を直接聴き、自分の心で感じ取りたいこと、そして音楽を通して岩手の人々とながらいたいことが語られていました。

東日本大震災を直接体験していない大阪の高校生たちが、間接的な情報だけで満足せず、自らの五感を使って大船渡から一次情報をつかもうとしています。その探究心と誠実な姿勢は、本校の生徒たちにとっても大きな学びになるものと思っています。

4 「『学校』という場所の価値、そして2学期へ」

今、世の中にはSNSや動画配信サービスなど、手軽に情報を得られる環境が整っています。しかし、画面越しだけでは得にくい、五感を使った学びには、人の考えを深め、心を豊かにする力があります。学校は、様々な仲間や地域の方々と直接関わり、互いに認め合い、尊重し合いながら共に学ぶ場所です。

2学期には、全校で創り上げる文化祭をはじめ、3年生の修学旅行、2年生の職場体験、1年生のキャリアチャレンジデイなど、人や社会、地域と深く関わる機会が待っています。様々な人と積極的に関わり、五感を通して豊かな「心」を育てる2学期になることを期待しています。

2学期も教職員一丸となって教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

気仙地区中学校駅伝競走大会

9月1日（火）、高田松原運動公園で、男子6区間・女子5区間の駅伝大会が行われます。夏休み中も真剣に練習を重ねた選手たちへ、温かい応援をお願いします。



校庭でトレーニングに励む特設駅伝部